

4 令和6(2024)年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程学習指導	①基礎的・基本的な知識・技能の習得と、総合学科の特色を活かした教育を実現するための教育課程の編成を推進するとともに、組織的な授業改善に取り組む。	①新カリキュラムに基づき、昨年度実践した内容を踏まえ、新カリキュラムの必修科目・系列科目・選択科目について指導を行う。 ②多様な学びの場を提供するとともに、参加する生徒の姿勢や意欲を向上させるための指導を行う。	①単元計画の作成を通して、新カリキュラムの科目の指導内容及び、学習評価の在り方について具体的な検討を継続する。 ①ICT推進ワーキンググループと連携し、よりよい授業づくりを推進する。 ②生徒の確実な単位修得に繋がる指導に取り組む。また、学校外活動に係る情報の提供を積極的にを行い、生徒の興味・関心を促す。	①新カリキュラム完全移行を踏まえ、生徒の実態に即した学習内容の検討及び実践ができたか。 ①授業支援ツールを活用した効果的な授業実践が行えたか。 ①学習評価の在り方について、教員間で共有や検討を促すことができたか。 ②学校外活動での単位修得を推進できたか。
2	生徒指導・支援	①基本的な生活習慣を確立させ規範意識を身に付けさせる。 ②部活動等を活性化させ、学校生活の充実を図る。 ③関係機関と連携した教育相談体制を推進させる。 ④外国人生徒支援委員会の一層の推進を図り、外国とつながりのある生徒への支援を行う。	①基本的な生活習慣を身に付けられるよう、様々な場面で指導を行い、規範意識を高める。 ②生徒が学校行事等や生徒会活動、生徒委員会活動、部活動等を通じて充実した学校生活を送る中で、社会の一員として必要な資質・能力を育成する。 ③SCやSWとの連携を推進し、教育相談体制を確立する。また、状況に応じて、外部機関との連携を積極的に図る。 ④外国人生徒支援委員会を中心に外国とつながりのある生徒情報の共有に努め、積極的な支援を行う。	①教職員が共通認識を持ち、授業や学校生活、学校行事等のあらゆる場面で、生徒支援を行う。 ②学校行事や生徒会活動、部活動等を通じて、生徒が自身の能力や個性を生かして活躍できる機会をつくる。 ③研修等を通して教職員が教育相談やいじめについての理解を深め、生徒・保護者が安心して学校生活を送れるように支援する。また、組織的な支援体制を検討する。 ④外国とつながりのある生徒の状況を学校全体で共有し、組織的に多文化共生教育の取組を行う。	①生徒が自分から考えて行動し、けじめある生活習慣を身に付けられたか。 ②学校行事や生徒会活動、部活動等を通じて、生徒一人ひとりが活躍できる場をつくることができたか。 ③職員研修を行い、教育相談やいじめへの理解を深め、問題や悩みを抱える生徒・保護者の解決につなげられたか。また、より良い支援体制が構築できたか。 ④外国につながるのある生徒の日本語習得や進路支援ができたか。 ④多文化共生教育の取組が行えたか。
3	進路指導・支援	①キャリアガイダンスの内容をさらに充実させ、生徒が主体的な姿勢で進路実現に臨めるよう支援を推し進める。	①「キャリア教育実践プログラム」の見直しを引き続き検討する。 ②自ら考え行動できるような主体的な姿勢で希望進路の実現に向かっていけるよう支援する。	①「未来探索ⅠⅡⅢ」の学習内容が主体的・体験的なものになるよう、様々な場面・方法で恒常的に見直す。 ②卒業後の進路を踏まえ、計画的な履修指導やキャリアカウンセリングを行う。また、情報収集及び情報活用能力を育てる。さらに、家庭と連携した生徒支援を行う方策を検討する。	①「未来探索ⅠⅡⅢ」の取組に対し、方法を工夫しながら恒常的に改善を加えることができたか。 ②履修指導やキャリアカウンセリングが計画的に行われたか。また、保護者への進路情報の提供が、適切に行われたか。
4	地域等との協働	①地域との連携を密にし、外部機関の教育力を積極的に活用する。 ②PTAと協働した教育活動をより発展させる。	①授業や学校行事等を通して、生徒が地域と交流し、積極的に社会に寄与する意欲や態度を育む。 ②PTAと協働する機会を増やし、学校行事を充実させ、生徒の満足度を高める。	①授業や学校行事を通して、生徒が地域と交流する機会を設ける。 ②PTAが式典や学校行事に参加する機会を増やし、生徒と保護者が関わる場面を増やす。	①生徒が地域と交流する機会を設定し、積極的に社会に寄与する意欲や態度を育てられたか。 ②PTAや保護者が式典や学校行事に参加し協働することができたか。
5	学校管理 学校運営	①教職員一人ひとりの働き方への対応を行うとともに、事故・不祥事防止に努め、教職員の資質向上を目指す。 ②各種団体等と連携し、防災教育の推進や、総合学科の特色を生かした学習環境の整備を行う。	①業務を精査し、事故・不祥事防止を一体として捉えた業務改善を実施する。 ②防災教育を実施し、生徒が自分の身を守る大切さを学ぶ機会を設ける。また、学習環境の課題を把握し、生徒の学習意欲の向上に努める。	①業務分担の見直しを行うとともに、事故や不祥事につながりやすい事例を把握し、共有・検討を行う。 ②教職員防災マニュアルを再点検し、効果的な防災教育を実施する。また、修繕箇所の確認や、クロムブック等の備品管理を適宜実施する。	①業務分担の再検討や改善ができたか。 ②効果的な防災教育が実施できたかをアンケート等で検討する。また、適切な修繕や備品管理ができたか。